

阿蘇医療センター広報誌



Take Free

で自由にお持ちください

第10号

2018年9月発行



Contents

- | | | | |
|---------------|-----|----------------|-----|
| ◆表紙 | P 1 | ◆看護部だより | P 5 |
| ◆医局だより／院内設備紹介 | P 2 | ◆医療技術部だより | P 6 |
| ◆新任医師紹介 | P 3 | ◆部門紹介／トピックス | P 7 |
| ◆診療科開設のご案内 | P 3 | ◆早期アルツハイマー型認知症 | |
| ◆外来診療体制 | P 4 | 診断支援システム | P 8 |

職員募集



詳しくはHPをご覧ください

阿蘇医療センター 医局だより



循環器内科部長
地域医療連携部長
宮本 信三 医師

阿蘇医療センター循環器内科は、常勤医師2名、非常勤医師2名の計4名で循環器領域を専門に診療を行っています。対象となる疾患は、虚血性心疾患、心不全、高血圧、不整脈、末梢動脈疾患などです。当センターは、血管造影室がありますので、熊本市内の循環器専門施設とほぼ同様の検査および治療が可能です。また、日本循環器学会循環器専門医研修関連施設に認定されており、熊本県の急性心筋梗塞急性期拠点病院および急性心筋梗塞回復期医療機関に指定されています。

狭心症などの虚血性心疾患が疑われる場合、心電図、心エコー、運動負荷心電図などの検査を行った後、必要に応じて心臓CTを行い、心臓を栄養する冠動脈に狭窄があるかどうかを調べます。さらに精査が必要な場合は、入院して頂きまして、冠動脈造影を行います。冠動脈造影の結果、治療が必要な場合はカテーテル治療を行います。また、時間外でも可能な限り、急性心筋梗塞などの緊急に検査および治療が必要な患者さんに対して迅速に治療できる体制を構築しております。心臓外科手術が必要な症例につきましては、熊本大学医学部附属病院をはじめとする高度医療機関と連携して診療をすすめています。

徐脈性不整脈に対してはペースメーカー植え込み術を当院でも行っております。ペースメーカーはMRI対応かつ遠隔モニタリング対応機種を積極的に選択し、ペースメーカー術後の検査に支障がないようにしています。ペースメーカー管理につきましては、遠隔モニタリングを利用し、阿蘇圏域の患者さんのペースメーカーの管理を行っています。

地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設と連携を図りながら、地域の皆様に安心して暮らして頂けるような医療を提供し、皆様の健康維持と福祉の向上に貢献出来ればと思います。どうか宜しくお願いいたします。

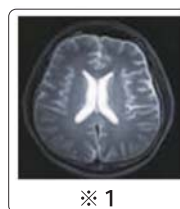
院内設備紹介



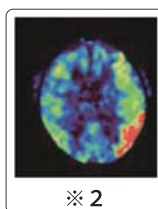
MR I 装置1.5T (Vantage Titan 1.5T)

体動補正技術により、アーチファクトの少ない画像が得られます。非造影で脳血流画像や全身のMRアンギオが可能です。^{※1}

また、早期アルツハイマー型認知症診断支援システムVSRAD（ブイエスラド）も導入しています。^{※2}



※1



※2



X線血管撮影装置 (Infinix Celeve-i)

バイプレーンシステムにより2方向撮影が同時にでき検査時間の短縮ができます。脳血管領域においても、3Dアンギオ等をスピーディーかつノイズの少ない画像で提供できます。



CT装置 (Aquilion PRIME)

80列マルチディテクタ（検出器）搭載なので、1回の息止めで全身の検査ができ、被曝を抑えて心臓をはじめ全身の血管の造影画像をアーチファクトが少ない状態で提供できます。



病 室



リハビリ室

入院設備・リハビリテーション室

理学療法士：8名、作業療法士：4名、言語聴覚士：1名が在籍しており、心大血管疾患リハビリテーション料Ⅱ、脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰ、運動器リハビリテーション料Ⅰ、廃用症候群リハビリテーション料Ⅰの基準を満たしています。

新任医師紹介 ーピックアップー



脳神経内科 部長
(常勤医師)

ほんだ しょうじ

本田 省二

日本内科学会 認定内科医
日本神経学会 専門医
日本脳卒中学会 専門医

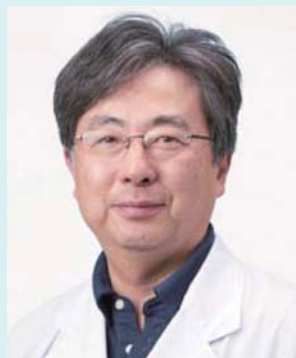
平成30年6月1日付で脳神経内科に着任しました。平成23年4月から2年間、阿蘇中央病院に週1回勤務していたことがあり、久しぶりの阿蘇勤務です。前任地の熊本機能病院では、主に回復期リハビリテーション病棟を担当していましたので、その経験も活かせればと思っています。よろしくお願いいたします。

専門分野

脳神経内科疾患全般

外来診療

毎週月曜・木曜：午前



腫瘍内科
(非常勤医師)

さかい けんじ

境 健爾

(熊本医療センター 腫瘍内科部長)

熊本大学医学部臨床教授
日本がん治療認定機構暫定教育医
日本緩和医療学会暫定指導医

平成30年8月から、阿蘇医療センターの腫瘍内科非常勤医師として、毎月第3木曜日の午前に診療させていただくこととなりました。

今まで培った知識や経験を如何なく発揮すると同時に、医師やスタッフと共により良い医療を提供できるよう心がけたいと思います。よろしくお願いいたします。

専門分野

臨床腫瘍学、緩和医療学、血液学

外来診療

毎月第3木曜：午前、午後

診療科開設のご案内 ～腫瘍内科～

腫瘍内科医師 境 健爾

腫瘍内科は、抗がん剤を専門に取り扱う科ですが、それだけではありません。すべての種類のがんを対象に、診断や治療（手術、抗がん剤、放射線療法、症状緩和など）の計画、心理的サポート、生活面や経済面のサポート、医療相談、予防などを担当する診療科です。

医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務、管理栄養士、リハビリなどさまざまな職種のスタッフと専門のチームを組んで医療を提供しています。

阿蘇医療センターだけでなく、熊本市のがん専門の拠点病院や阿蘇近隣の医療機関と連携を取りながら、患者さんに最良で最新の治療やケアを提供します。

がんの患者さんやそのご家族に、「安心を与えることの出来る」そんな診療科を目指しています。

阿蘇医療センター 外来診療担当医表 (平成30年10月1日予定)

一般外来 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)
午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00)

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	湯本 信也 宮本 誠	宮本 誠	湯本 信也 佐藤 智英	宮本 誠 佐藤 智英	湯本 信也 宮本 誠
	午後	宮本 誠	湯本 信也 (在宅酸素療法外来)		佐藤 英明 (第3木曜)	
脳神経外科	午前	甲斐 豊	甲斐 豊		甲斐 豊	天達 俊博 甲斐 豊
	午後	甲斐 豊	甲斐 豊		甲斐 豊	天達 俊博 甲斐 豊
循環器内科	午前	木村 優一	木村 優一	宮本 信三(第4水曜除く) 老松 優	藤末 昂一郎	
	午後	木村 優一※1 (睡眠時無呼吸症候群外来)				
脳神経内科	午前	本田 省二		中原 圭一(第1・3水曜) 中島 誠(第2・4水曜) 杉村 勇輔(第5水曜)	本田 省二	
	午後			中原 圭一(第1・3水曜) 中島 誠(第2・4水曜) 杉村 勇輔(第5水曜)		
整形外科	午前		松下 紘三		湯上 正樹	
	午後		松下 紘三		湯上 正樹	
消化器外科	午前		中川 真英	近本 亮	中川 真英	
リウマチ 膠原病内科	午前			中村 正 (第3水曜)		
	午後			中村 正 (第3水曜)		
乳腺内分泌外科	午後			岩瀬 弘敬 (第3水曜)		
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午前					井形 元維
	午後					井形 元維
血液内科	午後					鈴島 仁 (第2金曜)
腫瘍内科	午前				境 健爾 (第3木曜)	
	午後				境 健爾 (第3木曜)	

総合診療 (新患・健診) ※3	午前	宮本 信三 甲斐 豊	佐藤 智英 甲斐 豊 湯本 信也	佐藤 智英 中川 真英	松本 久豊 甲斐 豊 湯本 信也	松本 久豊 甲斐 豊 天達 俊博
	午後	宮本 信三 甲斐 豊	佐藤 智英 甲斐 豊 湯本 信也	佐藤 智英 中川 真英	松本 久豊 甲斐 豊 湯本 信也	松本 久豊 甲斐 豊 天達 俊博

小児外来 月・水・木・金 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)
午後 受付時間 13:00～18:00 (診療時間 14:00～18:15)
火 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)
午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00)

小児科	午前	橋山 元浩	檜村 哲生	橋山 元浩	橋山 元浩(第2・3木曜除く)	橋山 元浩
	午後	橋山 元浩	檜村 哲生	橋山 元浩	橋山 元浩(第2・3木曜除く)	橋山 元浩
小児科 専門外来 (受付16:30まで)	午前			上土井貴子 (第2・4水曜)※2	永田 裕子(第3木曜) 岩井 正憲(偶第2木曜) 澤田 貴彰(奇第2木曜)	
	午後			上土井貴子 (第2・4水曜)※2	永田 裕子(第3木曜) 岩井 正憲(偶第2木曜) 澤田 貴彰(奇第2木曜)	

診療科	月	火	水	木	金	土
人工透析	午前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也・小野真・秦雄介 (第2・4・5週)(第1週)(第3週)
	午後	湯本 信也		湯本 信也	湯本 信也	

※1 受付時間 13:00～15:30 (診療時間 14:00～16:00)
※2 原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生までの受入れ。
※3 ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

当院は予約診療（原則）です。電話予約の上の来院をお勧めいたします。



山口 沙 織 さん

好きな食べ物

うどん

尊敬する人

出身校の校長先生

趣 味

音楽鑑賞



野 口 稚 葉 さん

好きな食べ物

うどん

尊敬する人

両親

趣 味

本を読むこと

音楽を聴くこと

看護師を目指したきっかけは何ですか?

小学生の頃に祖母が入院した病院の看護師の方に優しく関わって頂いたことが看護師という職業にあこがれをもち目指すきっかけとなりました。

小学生の頃に入院した事と、父が病気になり入退院を繰り返した時に看護師さんが優しく接して下さり憧れたからです。

どんな看護師になりたいですか?

患者さんの視点に立って、思いを傾聴できる看護師を目指しています。病棟の先輩方からのアドバイスなどを大切にして目標を達成出来る様頑張ります。

優しくなんでも話しやすいと思われる様な看護師になりたいです。

お休みの日は何をしていますか?

家で過ごすことが多いですが、天気の良い日などは家族とドライブをして楽しんでいます。

家でゆっくり休んだり友達と遊んだり買い物に行きます。

阿蘇の魅力はどんなところですか?

自然が豊かで、観光スポットも多く1年を通して様々な景色を楽しめるところです。

景色が綺麗でとても住みやすいところです。

阿蘇医療センターのPR を一言をお願いします!

患者さん本人だけでなく家族の方を含めた多職種による医療が提供されています。

先輩の看護師さんが分からないところも優しく適切に指導くださり勉強させていただけます。





不整脈治療専門
臨床工学技士
主任 佐藤 邦昭

心臓植込みデバイス（ペースメーカ等）の管理について

今回は、阿蘇医療センターとして移転開院後に本格的に開始しました心臓植込みデバイス業務を紹介いたします。

医療機器の専門家である臨床工学技士の役割

当院の心臓植込みデバイス（ペースメーカ等）の管理は、循環器内科医師をはじめとしたチーム医療でサポートしています。その中で不整脈治療専門臨床工学技士を中心とした医療機器の専門家である臨床工学技士が、植込み手術時の機器の設定やチェックから患者さんや家族へのデバイスの説明などを担当しています。退院後も外来でのフォローアップや遠隔モニタリングの管理を行い、MRI（磁気共鳴）検査などの対応も含め、日々進化するデバイスに対応するため、常に最新の情報収集を行いながら安全な医療を提供しています。

1. 阿蘇地域の心臓植込みデバイス患者に対する体制について

阿蘇地域では、ペースメーカの植込み手術から、植込み患者さんはフォローアップを受けるために1～2時間ほどの時間をかけて熊本市内の病院に通わなければならない環境でしたが、2014年8月の阿蘇医療センター開院後は、ペースメーカの植込み手術からその他心臓植込みデバイス（ICD植込み型除細動器、CRTD植込み型除細動器付き両室ペースメーカ、リードレスペースメーカなど）全ての機能チェックを含めた全メーカーのフォローアップが当院で可能となっています。

2. 遠隔モニタリングを活用した安全管理

当院では手術室の一室であるアンギオ室を使用して清潔な環境下でペースメーカの植込み手術（交換手術含む）を行っております。完全房室ブロックや洞不全症候群、徐脈性心房細動などの徐脈性不整脈が主な適応疾患になります。

植込み手術後は年に2、3度外来での定期的な機能チェックが必要となりますが、対象患者さんの高齢化に伴い、遠隔モニタリングを積極的に導入し経過が安定した利用患者さんには年に1度の外来チェックですむことで来院の負担を軽減しています。

高齢者や施設入所者など阿蘇医療センターから自宅までの距離があり通院が困難な方においても、負担を軽減しつつ安全管理が可能となっています。

遠隔モニタリングには手動と自動タイプがありますが、近年自動化が進み、現在新規導入の方はほぼ自動タイプとなっており、モニタリング用端末をベッドサイドに電源コンセントに繋いでおくだけでモニタリング管理が可能となっていますので、一人暮らしや施設入所者の高齢者の方などにもとても便利です。

遠隔モニタリングには定期的なデータ送信と不整脈イベントや機器の異常などがあった場合のアラート通知機能もあり、通常の外来チェック管理に加え、よりきめの細かい対応も可能になるなど、より安全なデバイス管理を実施しています。



3. 条件付きMRI対応心臓植込みデバイス患者のMRI検査について

ペースメーカなどの心臓植込みデバイスを植込んだ患者さんは、従来MRI（磁気共鳴）検査を実施する事が出来ませんでした。2012年より国内で条件付きMRI対応ペースメーカが発売され、現在では新規の植込み手術の場合は、第一選択で条件付きMRI対応ペースメーカとなっています。最近では交換手術の際も対象になる場合も増えています。

当院は心臓植込みデバイス患者のMRI検査施設として登録し、日本で発売されている全メーカーのMRI検査を実施可能としています。条件付きと名称にありますように、MRI検査を実施するためには条件付きMRI対応カードの提示や機器の状態などの条件を満たした場合のみ検査可能で、検査中はMRIモードへ変更しMRI検査により心臓植込みデバイスに影響を受けにくくする対応を行い、モード設定や、MRI検査自体の設定にも制限があります。そのため医師により、患者さんにとってMRI検査の必要性を十分に考慮したうえで実施することとなっております。

部門紹介 ～リハビリ室～



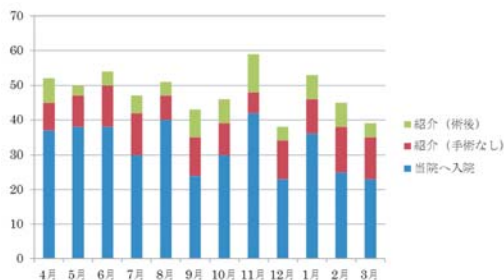
阿蘇医療センターリハビリテーション室では、平成29年度は延べ577名の入院患者さんに対してリハビリテーションを提供させていただきました。577名の約3分の1にあたる191名（手術なし120名、手術あり71名）の患者さんを、院外の医療機関様より紹介いただいております。紹介いただいた患者さんのうち約6割が自宅復帰され、約4割の患者さんを医療機関等に紹介しております。今後も阿蘇圏域の皆様に貢献できるよう、取り組みを続けてまいります。

□ 施設基準

- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）

□ 職員構成

理学療法士：8名、作業療法士：4名、言語聴覚士：1名



■ 平成29年度実績

トピックス

がんサロンの開催について

【日付：毎月第2木曜日】
【場所：当院講堂など】

● 平成30年4月より、阿蘇医療センター内において、阿蘇がんサロン「笑がお」を開催しております。阿蘇にもがんサロンがほしいとの思いから、患者さん同士がお互いに声を掛け合いながら、がんサロン開設が実現しました。

毎月第2木曜日の午後1時半から、午後3時半まで開催しております。当院職員によるミニ講座や参加者同士での茶話会を行っており、参加された方からは、阿蘇にもがんサロンができて嬉しいと喜びの声も聞かれています。どなたでも参加することができますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

担当：地域医療連携部（阿南）



出前講座開催について

【日付：6月10日(日)】
【場所：ホテルサンクラウン】

● 平成30年6月10日（日）ホテルサンクラウンにおいて熊本県腎臓病患者連絡協議会の主催による第6回熊腎協大会イン阿蘇が開催され、記念講演として甲斐豊院長が講演を行いました。

講演は「熊本地震 その時阿蘇は！」という演題で行われ、出席された約120名の会員の皆様も震災当時を振り返りながら、真剣に聴講されました。

出前講座のお申込みに関する問合せ先：経営企画係



早期アルツハイマー型認知症診断支援システム

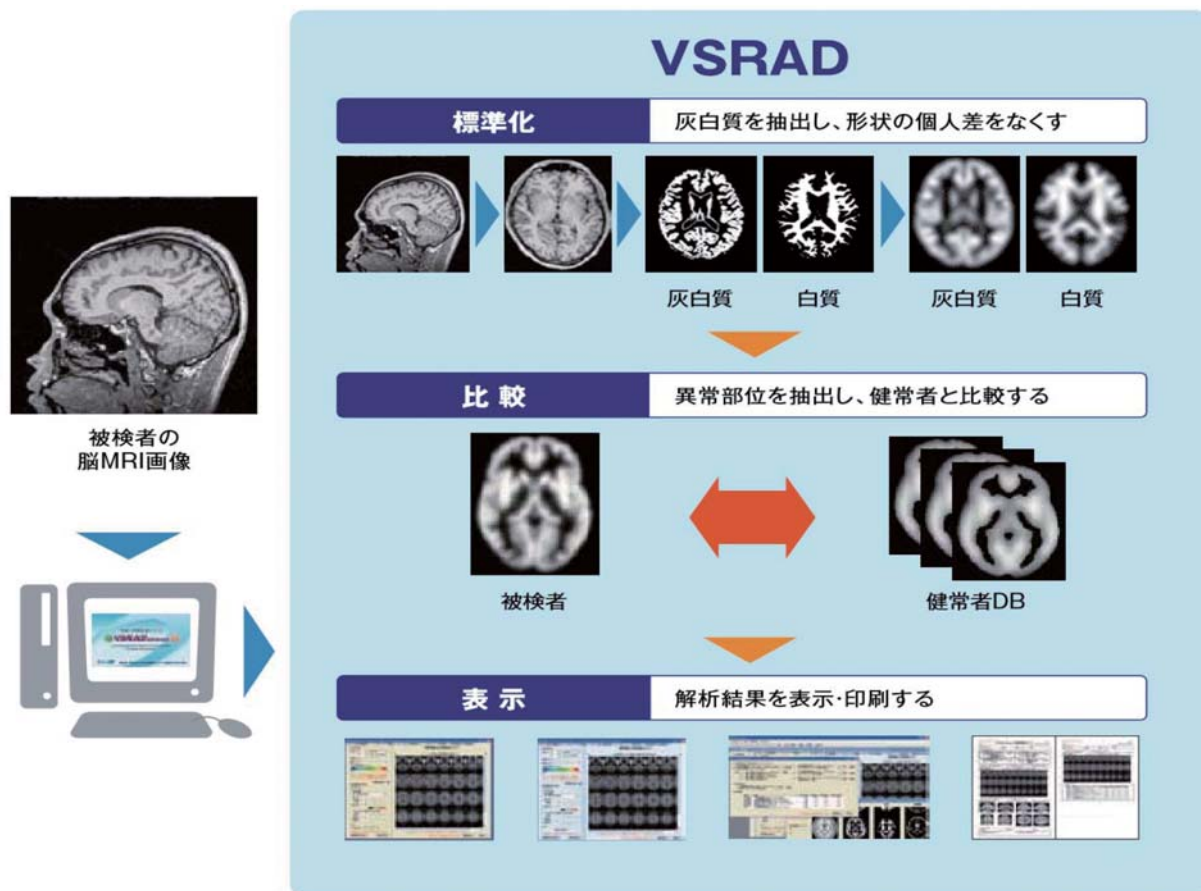
voxel-based specific regional analysis system for Alzheimer' s Disease : VSRAD (ブイエスラド)

アルツハイマー病は、嗅内皮質や海馬の選択的な灰白質容積の減少を捉えることにより早期診断が可能です。

しかし視覚的にそれらの容積の減少を捉えるのは、よほど進行しているものでないと非常に難しいといわれています。

当院のMRI装置に搭載されている認知症診断支援ソフトVSRAD advance2では、アルツハイマー型認知症や、レビー小体型認知症の診断についても解析ができ、診断指標として活用できます。患者さんご本人またはご紹介施設へお渡しする解析結果2枚のなかにあるVOI(voxel of interest)の値によって、脳の萎縮度を判定し、認知症の有無や種類の鑑別の診断支援をしています。

■VSRADの解析の仕組み



※ものの忘れが気になる方で50歳以上の方が対象になります。

※ただし50歳未満の方は個人差が著しいため検査はできますが、判定の信頼度は下がります。

検査をご希望の場合は、かかりつけ医療機関の担当医の先生に相談の上、紹介状を持参してご来院ください。

アクセス

九州自動車道熊本ICより車で約1時間10分

あそ熊本空港より車で約1時間5分

JR 豊肥本線 阿蘇駅より徒歩10分



阿蘇市病院事業 阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
 TEL0967-34-0311(代) FAX0967-34-2273
<http://www.aso-mc.jp> E-mail info@aso-mc.jp

地域医療連携部

TEL・FAX 0967-34-0463 (直通)

